

保証書

持込修理 無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 2.保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
- 3.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名		ホットプレート〈プレート3点セット〉		★お買上げ日： 年 月 日	
型番	COK-PYH100AZ	品番	08-1706	保証期間：本体1年間（お買上げの日から）	
お客様	フリガナ ★お名前 様				
	★ご住所 〒 ー				
	電話 ()				
修理メモ					
販売店	★住所 店名 電話				
	印				

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

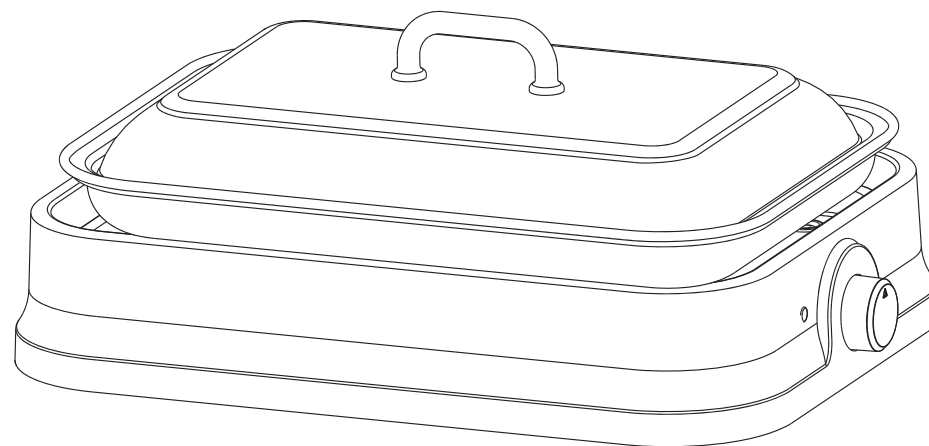


ホットプレート〈プレート3点セット〉

保証書付取扱説明書

型番：COK-PYH100AZ 品番：08-1706

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。



必ずお読みください

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

●表示について:表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。（下記は図記号の一部です）

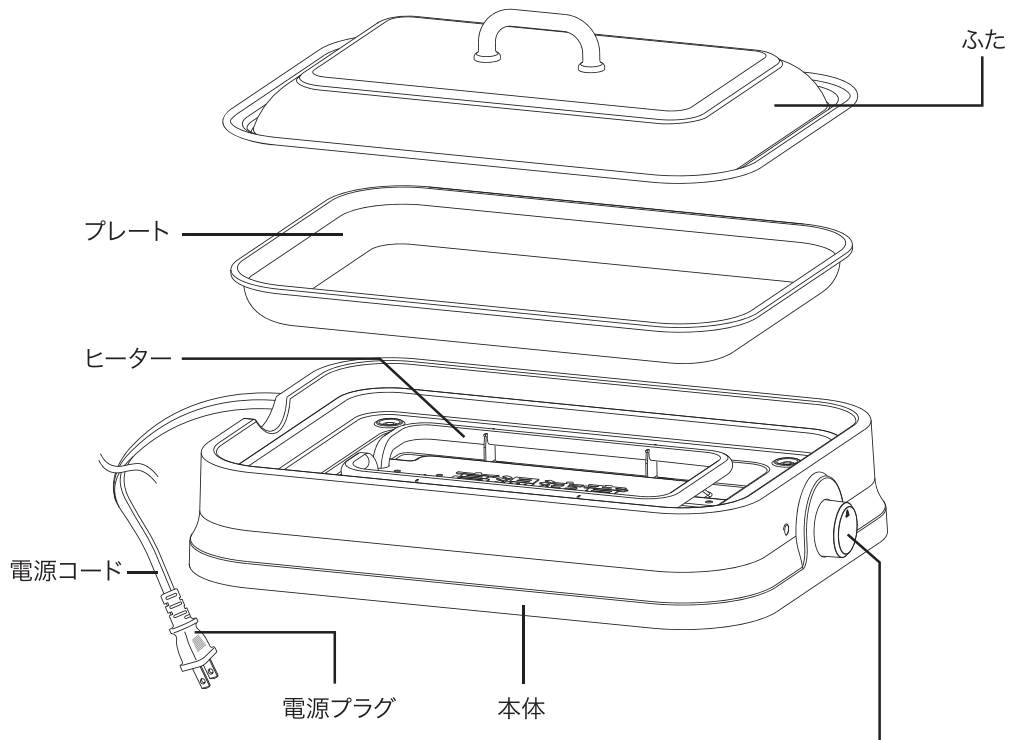
	禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告		
 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 ぬれ手禁止
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 水ぬれ禁止
 電源プラグを抜く	発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社修理相談センターまでご相談ください。	 分解禁止
	使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。 思わぬ事故や、けがの原因となることがあります。	 指示に従う
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	
	お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜いてから行う。 けがや感電のおそれがあります。	
		電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。 感電事故の原因となることがあります。
		本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ショートによる故障・感電・火災のおそれがあります。
		お客様自身での分解、改造、修理はしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。
		プレートを外すときや本体を持ち運ぶときは、充分冷めてからおこなう。 プレートなどの高温部に触れ、やけど・けがの原因になります。
		商品梱包用のポリ袋は乳幼児の手が届く場所に置かない。 頭からかぶるなどをするとき口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。

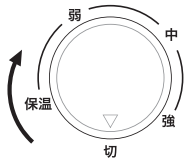
 禁止	電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	 禁止	ヒーターにゴミやほこり、金属物などを付着させない。 ショートして、火災・感電の原因になります。
	電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。		カーテンなど可燃物の近くで使用しない。 火災のおそれがあります。
	故障や一部破損した状態で使用しない。 けがや感電のおそれがあります。		直火（ガス台など）や磁気調理器（IHクッキングヒーター）、電気ヒーターの上にのせない。 火災、誤動作、故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。		火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。
揚げ物料理には使用しない。 火災の原因になります。		お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない。 乳幼児の手の届く所で使用したり、保管しない。 けがややけど、感電の原因になります。	

 注意			
 必ず守る	水平の安定した場所に設置する。 本体が倒れ、やけど、けがのおそれがあります。	 禁止	付属の専用プレート以外使用しない。プレートは他の調理器具で使用しない。 付属の電源コード以外使用しない。電源コードは他の電気製品に使用しない。 火災の原因になります。
	熱に弱いテーブルクロスなどの上では使わない。 設置場所が焦げたり、火災の原因になります。		お手入れの際は、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使わない。 本製品に傷がつくおそれがあります。
	電源コンセントの近く（コンセントの抜き差ししやすい場所）に設置する。 火災や感電、故障のおそれがあります。		使用中に本体を移動しない。 火災の原因になります。
	使用中は本製品から離れない。 発火や火災のおそれがあります。		調理物、油分、水が残ったままの状態で放置しない。 プレートが腐食する原因になります。
	お手入れは冷めてから行う。 感電ややけどのおそれがあります。		缶詰や瓶詰めなどを直接加熱しない。 破裂したり赤熱してやけどやけがをすることがあります。
	使用後は必ずお手入れをする。 火災や発煙のおそれがあります。		予熱以外の空焚きをしない。 火災や故障のおそれがあります。
	ふたをして調理するときは、ふきこぼれに注意する。 感電ややけど、故障の原因になります。		調理以外の目的に使用しない。 火災や事故の原因となります。
	調理中や調理後に、ふたを開けるときは、蒸気・湯滴・油の飛び散りに注意する。 やけどの原因になります。		本製品は家庭用なので、業務用として使わない。
 手を触れない	使用中や使用直後はプレートや周辺に触れない。 やけどやけがの原因となることがあります。		
 禁止	本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えない。 火災や故障のおそれがあります。		
	壁や家具などの近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形などの原因となることがあります。		

各部の名称



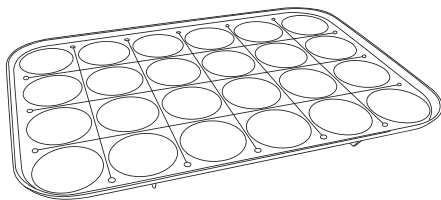
ダイヤルを時計回りに回すと電源が入ります。ご使用になる温度に調節してください。加熱・予熱中はランプが赤く点灯します。設定温度に達すると消灯します。



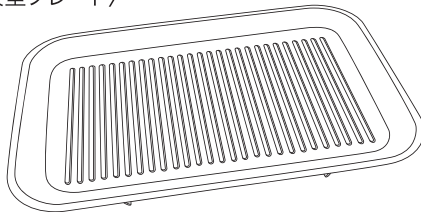
温度調節ダイヤル
調理の温度を設定します。『切』の位置まで動かすと電源が切れます。

付属プレート

〈たこ焼きプレート〉



〈波型プレート〉



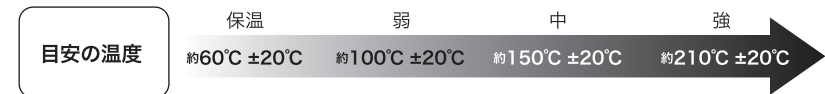
使用方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- 温度調節ダイヤルが『切る』になっていることを確認してから差し込んでください。
※ 電源コードは束ねて使用しないでください。

2. 温度調節ダイヤルを『中』にし、予熱を開始する

- 電源ランプが点灯します。温度調節ダイヤルを「中」まで移動し、約2～3分程プレートを予熱します。
※ 使用中に『カチッ』と音がすることがありますが、サーモスタットの動作音であり、異常ではありません。
※ プレートと本体の間に、異物や水分などがいないかご確認ください。
※ プレートをセット後、ガタつきや傾きがないかどうか確認してください。



3. 調理を開始する

- 予熱が完了したら、プレートに食材をのせてください。

⚠ 金属製のくしやヘラ等を使用しないでください。プレートのフッ素加工を傷める原因となります

- ※ 使用中は、サーモスタットの働きでプレートの温度が一定に保たれていますので、電源スイッチの入／切の操作をする必要はありません。
- ※ 使用中に「カチッ」と音がすることがありますが、サーモスタットの動作音であり、異常ではありません。
- ※ 通電中や通電直後はプレートがたいへん熱くなっています。絶対に触ったり、手や顔を近づけたりしないでください。
- ※ 使用中は本体の近くに、熱に弱い容器類などを置かないようにしてください。変形・発火の原因となります。

4. ご使用の後は

- 使い終わったら温度調節ダイヤルを『OFF』にし、電源プラグを抜いてください。
※ プレート本体が非常に熱くなっていますので、ご注意ください。
- 必ず本体が完全に冷めてから片付けを始めてください。

お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。また、食器洗い乾燥機での洗浄・乾燥はしないでください。

プレートのお手入れ ※プレートは取り外しできます。

- 使用後、プレートが完全に冷める前の温かいうちに、ぬれふきんやキッチンペーパーなどで汚れを拭き取ってください。
- ※菜箸等を使い、手が直接プレートに触れないよう十分に注意してください。
- プレートが充分冷めてから本体から取り外し、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ等で洗い、水で流してください。
- (プレートは自動食器洗い機での洗浄はできません。)
- 水で流した後は、水気を拭き取り充分に乾かしてください。

本体・ふたのお手入れ

- ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんなどを固く絞り汚れを拭き取ります。
- その後、水分を完全に拭き取ります。

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。

収納する

- 直射日光をさけ、湿気が少ない場所に保管してください。
- ※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

故障かなと思ったら

電源ランプが点灯しない

電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれていない可能性があります。温度調節ダイヤルを『切』にして、再度しっかりと電源コネクターを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

食材が焼けない

冷蔵庫から取り出したばかりの食材は熱が伝わりにくいことがあります。食材を適温に戻してから調理してください。

食材が焦げる

プレートが汚れている可能性があります。汚れを取りのぞき、プレートをきれいにし、プレートに十分な食用油が塗られていない可能性があります。プレート表面にまんべんなく塗ってください。

使用中に『カチッ』と
きしみ音がする

サーモスタットの動作音であり、異常ではありません。そのままご使用ください。

電源プラグが熱い

電源プラグやコンセントが汚れていたり、ホコリが溜まっている可能性があります。きれいに拭き取ってからご使用ください。

仕様

商 品 名	ホットプレート〈プレート3点セット〉
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	1000W
本 体 寸 法	(約)幅356×高さ147×奥行248mm(ふた含む)
質 量	本体:約1790g(ふた、平面プレート含む) たこ焼きプレート:約630g 波型プレート:約460g
電 源 コ ー ド 長	(約)1.4m

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。